

皆様

これまでも皆様にお知らせしてきました「メッセの戦略的な展開による文化のビジネス化」をテーマとした今年の世界創造都市フォーラムが今年15日に開催されました。フォーラムは「メッセを通じた創造都市の新たな連携を築くための金沢アジェンダ」を採択し、大成功の中、幕を閉じました。

皆様におかれましては、創造都市・金沢の取り組みにご理解とご協力いただき、本当にありがとうございました。また、モントリオール市、上海市、ソウル市においては、メッセを担当している方から、貴重なお話をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。今後とも、金沢市は各種の実践的な取り組みを推進するとともに、ユネスコ創造都市ネットワーク活動の発展につなげていきたいと思っています。

さて、今回は全国金箔生産量の約99%を占める金沢市で、江戸時代から伝わる伝統工芸の一つ、「金箔」の技術や文化を伝える「金沢市立安江金箔工芸館」が今年5日に移転、新築オープンしたことをお知らせ致します。

同館は、1974年に金沢市北安江に開館しましたが、この度、観光客や現役金箔職人が多い金沢市東山に移転しました。

同館では、金箔をふんだんに利用した屏風や陶芸作品の展示に加え、金沢での金箔の歴史や作り方、職人の道具などを紹介しています。また、金箔の性質を学ぶ体験コーナーも設けられています。

金箔は、金沢の主要な伝統産業の一つですが、近年は需要の高い仏壇の販売低迷などを理由に出荷額が減少しています。このため、同館の3階には、金箔の産地支援、新しい技術の開発、産学連携や販路の開拓などを旨とする「金箔技術振興研究所」を併設しています。

金箔の魅力や職人の技を発信する新拠点となる「金沢市立安江金箔工芸館」に皆様、是非、一度お立ち寄りください。

<http://www.kanazawa-museum.jp/kinpaku/>

今後も、クラフト創造都市・金沢は、文化とビジネスをつなぐために、また、創造の担い手を育てるために、各種の取り組みを推進していきたいと考えております。

それでは、皆様ますますご健勝にてご活躍されることを願って、日本国金沢市創造都市推進担当より



(金箔を使用した工芸品)



(金沢市立安江金箔工芸館)